

合併地区のまちづくりに係る実施事業に関する意見について

資料2

塩江地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
塩江地区	1	適正な診療体制の確保について	塩江地区は、高松市内でも過疎化・高齢化が一段と進行しており、住民からは、合併後十数年を経過してもいまだ整備されていない附属医療施設や塩江分院の診療に対する意見も聞こえてきます。医師確保も難しい状況の中で、地域特性に合った医療の提供に向けて、どのような取組を行っているのかお教えてください。また、電子カルテを導入し、みんなの病院と塩江分院をオンラインで繋ぐことにより、みんなの病院での検査や診察結果について、塩江分院での治療にも反映することで、より患者に寄り添った診療が可能になると考えますが、電子カルテの導入時期を教えてください。なお、導入が遅れる場合、どのような問題があるのかも説明してください。	病院局	みんなの病院事務局総務課 附属医療施設整備室	塩江分院では、これまでも、塩江地区唯一の医療機関として、慢性期医療を中心に、地域住民の方が、住み慣れた自宅で安心して療養できるよう、訪問看護ステーションとの連携による訪問看護や訪問診療・訪問歯科・訪問リハビリなど、医療スタッフが地域に出向き、専門性を活かした活動の充実など、地域を支える「地域まるごと医療」の実践のほか、みんなの病院医師による外来診療の応援や「地域医療機関との連携強化」等に取り組んでいます。新型コロナウイルス感染症の影響から、地元での健康教室の開催を見合わせていますが、本年4月に就任した若松新院長のもと、地元で愛される病院の実現に向け取り組んでまいります。 また、電子カルテシステムの導入は、より適切な医療の実施、また、みんなの病院から医師を派遣する際の利便性の点からも、その導入を検討しているところであります。現在、みんなの病院で使用している電子カルテシステムの運用保守契約が本年度終了することから、期間の延長やシステムの更新等の検討を行っておりまして、入院・外来ともに紙カルテで対応している現塩江分院に電子カルテシステムを導入する際に生じる問題点等についても合わせて整理しているところです。今後、これらの課題を整理し、可能な限り早期の導入を目指してまいります。
塩江地区	2	高松市みんなの病院等への通院方法の確保	塩江地区は、今後、より高齢化が進行し、自分自身で車を運転するなどして、みんなの病院等へ通院することが困難になることが予想されます。このことから、みんなの病院等への福祉バスの運行や、ことでんバスの小型化による便数の確保など、交通手段の整備をお願いします。	都市整備局 病院局	交通政策課 みんなの病院事務局総務課 附属医療施設整備室	【交通政策課】 本市では、ことでん琴平線における2つの新駅整備などの、交通結節拠点の整備と併せ、これら鉄道駅からのフィーダー交通の充実を図りながら、段階的に幹線系統のバス路線の再編を進めていくこととしております。 みんなの病院を経由している、ことでんバス塩江線については、幹線の路線でありますことから、本市としても路線を維持していくことは必要と存じます。 このためには、地域の皆様の利用が不可欠となりますので、利用が促進されるよう、地域と共々に取り組んでまいりたいと存じます。 【附属医療施設整備室】 なお、病院局が行う、附属医療施設の無床化に伴う対応策としての、みんなの病院での入院・外来受診時の搬送手段につきましては、附属医療施設の整備に合わせて確保してまいります。
塩江地区	3	栂川ダム整備事業	栂川ダム整備事業につきましては、管理事務所を含めたダム本体工事が令和3年夏頃、また、公園等の周辺整備を含めた事業の完了は令和4年度末を予定していると同っておりますが、完成後におけるダムの観光面を含めた利活用方策や、周辺施設を含めた管理体制に係る県及び市の役割分担について、具体的に決定する時期が来ていると考えます。このことについて、市の考えをお聞かせください。	都市整備局	河港課 公園緑地課	現在、香川県と本市関係課(河港課、公園緑地課、道路管理課)において、整備後の維持管理方法等について、協議を開始したところでございます。 御質問の「完成後におけるダムの観光面を含めた利活用方策や、周辺施設を含めた管理体制に係る県及び市の役割分担」につきましては、今後の観光振興担当部署も含めた協議の中で、検討してまいりたいと存じます。
塩江地区	4	高松市塩江美術館及び周辺施設の充実	高松市立みんなの病院附属医療施設や道の駅しおのえが自然休養村センターの跡地及びその隣接地に建設されることに伴い、温泉まつり等のすべてのイベントは、ホテルと文化の里公園が活用されることになると考えます。そこで、高松市塩江美術館も含めたホテルと文化の里公園について、芸術、文化などの交流拠点として発信するため、トイレや植え込みなどの整備を行い、イベント等に利用しやすい環境を整えていただきたい。また、演劇等に最適な野外ステージの活用についても、積極的に検討をお願いしたい。	創造都市推進局	スポーツ振興課	ホテルと文化の里運動場については、現在、指定管理者である(公財)高松市スポーツ協会において管理・運営を行っております。塩江地区のイベントについては、毎年、塩江さくらまつり、塩江温泉まつり、塩江ホテルまつりでグラウンド、野外ステージ、ゲートボール場等を会場として利用していただいております。イベント等に利用しやすい環境整備につきましては、現時点では、新たな整備の予定はございませんが、利用状況等も勘案しながら、検討してまいりたいと存じます。 今後とも指定管理者と連携し、ホームページやSNS等を活用し、施設のPR活動に努めてまいります。
塩江地区	5	塩江地域の活性化対策	現在世界中を震撼させている未知のウイルスである新型コロナウイルス感染症は、改めて人間のもろさを知らされるものだと考えます。また、今後30年間の発生確率が80%に引き上げられた南海地震や、ここ数年頻発する集中豪雨などの大規模自然災害が危惧される中、これら自然災害は、他の県内地域と比べて、観光業に大きく依存している塩江地域では、重大な障害となる恐れがあることから、官民一体で対応していかなければならないと考えます。そこで、市の施策をお教え願いたい。	創造都市推進局	観光交流課	本市を代表する観光地である塩江温泉郷は、中山間地域にあり、降雨量や積雪量も多く、自然災害に対する危機感の高い地区であると存じます。自然災害の発生は、観光業にも大きな影響を与えることから、今後とも、関係部局や関係機関と連携しながら、必要な防災対策を進めてまいりたいと存じます。また、災害発生時には、まずは、観光客の安全確保や帰宅支援などを最優先に取り組む必要があり、本市が策定している地域防災計画に基つき、迅速かつ適切な対応を行ってまいりたいと存じますが、こうした応急的対応の到着後には、現在の新型コロナウイルス感染症拡大の影響と同様、観光需要の低下による観光産業の経営悪化が懸念されるところであります。 自然災害発生後においても観光産業を早期復旧を目指すには、観光客や観光産業に甚大な被害をもたらすリスクを予め想定し、事前に被害を最小化するための減災対策を行うておくことが必要でありますことから、本市といたしましては、塩江道の駅エリアの整備等に併せて、関係機関や地元関係者とも連携しながら、効果的な対応策を検討してまいりたいと存じます。
塩江地区	6	自転車道を活用した塩江地域の観光振興	道の駅しおのえにサイクリングスタンドが設置されるなど、サイクリスト受け入れ環境が少しずつ整備されてきましたが、国道193号を南進するサイクリストは、以前にも増して多く見受けられるところです。塩江町には香東川自転車道(通称 県道269号線塩江香川高松自転車道線)が通っており、サイクリストの安全を考えると自転車道の利用が最良と考えますので、自転車道へ誘導する方策を講じていただくとともに、塩江の自然を満喫していただくため、同自転車道の各所に観光案内板を設置し、塩江の観光にも生かせないかと考えます。 また、自転車道の安全性をより確保するため、県道及び道の駅に続く市道の拡幅や除草などの整備もお願いしたいと考えます。	創造都市推進局 都市整備局	観光交流課 道路整備課	【観光交流課】 豊かな自然に恵まれた塩江地区は、サイクリストにとって魅力的なサイクリングルートであると存じます。そこで、昨年度、香川県と連携し、塩江地区をめぐるサイクリングルートを高松ルートとして設定し、道の駅「しおのえ」を、サイクルスタンド・空気入れ・お手洗い・休憩スペースが揃うサイクリストの拠り所であるサイクルオアシスとして設定し、それらのサイクリングの情報と観光情報も盛り込んだ「KAGAWA Cycling Map 高松ルート版」を作成いたしました。引き続き、香川県と連携しながら、観光案内板設置等の御提案の内容も含め、魅力的な観光情報発信等に取り組んでまいりたいと存じます。 【道路整備課】 次に、県道及び道の駅に続く市道の拡幅についてでございますが、地元関係者の合意形成を図っていただき、高松市生活道路事務処理要綱に基づき、協議を進めてまいりたいと存じます。 また、市道の除草につきましては、毎年、路線を決めて行っている状況でございますが、道路パトロールや市民の方からの通報などにより、道の駅近くなどの市道におきまして、通行に支障を来すような状況を見つけた場合につきましては、その都度、適切に対応してまいりたいと存じます。

合併地区のまちづくりに係る実施事業に関する意見について

資料2

塩江地区

地区名	項目番号	項目	事業の内容	担当局	担当課	対応方針
塩江地区	7	「奥の湯エリア」及び「道の駅エリア」事業の早期実施について	<p>「奥の湯エリア」及び高松市の重点取組事業である「塩江道の駅エリア」事業については、高松市として積極的に取り組んでいただいているところです。</p> <p>しかしながら、現在、未知のウイルスである新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、社会経済活動の自粛が求められるなどした結果、社会が困窮状態に陥っていることから、国は「特別定額給付金」などの事業を実施するほか、各自治体でも独自の救済策を実施しており、そのために多大な財源が必要かと考えます。</p> <p>このようなことから、国を初めとして高松市も財源不足に陥り、塩江地区の事業が遅延するのではないかと危惧されますが、予定通りの事業実施を要望いたします。</p>	創造都市推進局	観光エリア振興室	<p>新型コロナウイルス感染症の拡大に起因して、現在、市内の観光産業はもとより、幅広い産業が、売上の減少など、深刻な状況にあります。感染症の収束後には、観光客等の人の流れや、にぎわいをいち早く取り戻し、速やかに地域経済の活性化を図る必要があるものと存じます。そのため、直面する課題に対応しながらも、将来の観光需要をしっかりと見据えて、本市の新たな魅力を創出するための施設整備についても、計画的かつ効果的に事業を推進していくことが重要と存じます。本市を代表する地域資源である塩江温泉郷の魅力は、本市への観光需要を喚起する上で、重要な役割を果たすものと存じておりますことから、今後の新型コロナウイルス感染症を取り巻く状況や、本市財政への影響も見極めながら、できるだけ早期の実現に向けて取り組んでまいりたいと存じます。</p>
塩江地区	8	地域審議会終了後の受け皿づくりについて	<p>令和3年3月末で塩江地区地域審議会は終了し、「高松市自治基本条例」に規定された組織で、高松市との協働のパートナーである塩江地区コミュニティ協議会がまちづくりの中心になると考えます。この場合、コミュニティ協議会が同審議会に代わって、建設計画などのまちづくりに関わる事務に携わることになりますが、同事務に係る人件費や会議費等の自主財源が乏しいことから、市の予算措置について、どのように考えているのか前向きな回答をお願いします。</p>	市民政策局	コミュニティ推進課	<p>塩江地区地域審議会については、建設計画等登録事業の進捗状況等を考慮し、現在の設置期間が満了する今年度末で終了するものです。</p> <p>これまで、塩江地区地域審議会が担ってきた地域のまちづくりに関する役割については、すでに、自主的かつ自立的に地域のまちづくりに取り組んでおります塩江地区コミュニティ協議会において、その役割を担っていただきたいと存じております。</p> <p>本市では、現在、地域コミュニティ協議会に対し、地域まちづくり交付金や地域コミュニティ協議会事務局体制強化支援事業補助金を交付し、その活動への支援を行っており、地域審議会終了後においても、これらの補助金を有効に活用していただきたいと存じておりまして、地域コミュニティ協議会において、各地域の課題に応じたまちづくり活動が実施できるよう、引き続き、適切な支援に努めてまいります。</p>